

1~4号機は燃料の安定冷却を継続しています。発電所の最新状況やさまざまな取組みをお知らせします。

緊急時の対応力を高めるために

震災当時、津波で発生したガレキの撤去や浸水したモータの取替など、全プラントを安定した状態にするために必要な緊急時作業については、発電所員だけでは対応できず、協力企業の方々のご支援をいただいて進めることができました。

当所では、緊急時における対応力を強化する取組みとして、復旧作業に必要な機材を配備するとともに、社員のみで構成した「直営作業チーム（4チーム）」で訓練を重ねています。



仮設ケーブル接続チーム

電力ケーブル(1mあたり約5kg)を敷設する訓練
*3月12日撮影

ガレキ撤去・道路復旧チーム

重機の
運転・操作

冷却水ポンプ 復旧チーム

ポンプ部品の
取外し

モータ取替チーム

予備モータの
取付け



直営作業
プロジェクト
副主査

はるみ
秋元 治三

保安担当
(川内村出身)

大規模な自然災害発生などの緊急時に、所員が現場で復旧作業を行う「直営作業プロジェクト」は、発足から4年が経ちました。

現在は、カメラ機能付ドローンや重機の操作訓練に加え、夜間を想定した訓練も実施しています。

地域の皆さまにご心配をおかけすることのないよう、所員の現場対応力の向上に力を注いでまいります。

紙面リニューアルのお知らせ

「福島第二原子力発電所からのお知らせ」について、「より読みやすく、分かりやすい紙面」をめざし、皆さまからのご意見等を参考に、次号からリニューアルいたします（次号は6月発行予定）。

これに伴い、紙面サイズはA3二つ折、隔月発行となります。引き続き、発電所の最新状況や取組み、地域の情報などを皆さまにお届けできるよう努めてまいります。

NEW

地域とともに

今年は例年よりも桜の開花が早く、浜通りでは4月上旬に満開見頃を迎えました。発電所が立地する富岡町・楡葉町で開催されたイベントには、所員も地域の一員として参加しました。



富岡町

桜まつり2018

4月14・15日、夜ノ森地区の桜並木と富岡二中を会場に開催された「桜まつり2018」。桜並木では、色鮮やかなYOSAKOIや、勇壮な和太鼓演奏などが披露され、会場を盛り上げました。富岡二中では、多くの飲食ブースなどが出店し、町にゆかりのあるゲストを迎えたステージライブや町民の皆さんが参加した歌唱力選手権が催され、約1,200人の来場者がイベントを楽しみました。



発電所員も桜まつりに向けた清掃活動や当日の駐車場整備に参加しました。
(3月27日撮影)



満開を迎えた夜ノ森地区の桜
(4月5日撮影)



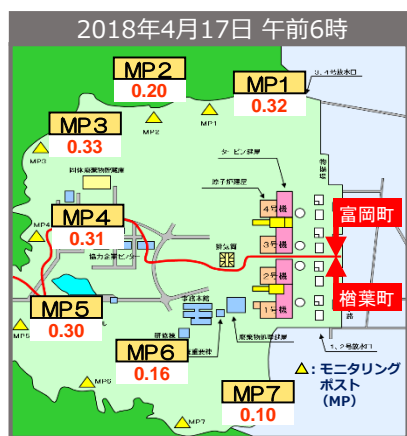
楡葉町

天神岬さくらまつり



4月7日、天神岬スポーツ公園内のあやめ池周辺で開催された「天神岬さくらまつり」。満開の桜の下、マミーすいとんなどの屋台や縁日が出店され、多くの家族連れでにぎわいました。桜のライトアップも行われ、来場者は夜空に浮かび上がる白やピンクの桜を楽しみました。

発電所周辺の空間線量率



参考データ

原子力規制委員会
放射線モニタリング情報より
(2018年4月17日午前6時)

富岡町
文化交流センター
(富岡町役場敷地内)
0.178
マイクロシーベルト毎時

楡葉町
楡葉町役場
0.083
マイクロシーベルト毎時

燃料の保管と冷却状況

- 燃料はすべて、1～4号機の使用済燃料プールで保管しています。プール水の温度は約30℃で管理し、常に監視しています。
- プールの冷却が停止した場合、プール構造物（鉄筋コンクリート）の強度を保つために設定した温度（65℃）に達するまで約7日と評価しており、その間に設備の復旧や対策がとれるよう備えています。

	1号機	2号機	3号機	4号機
燃料の保管数	2,534体	2,482体	2,544体	2,516体

福島復興への責任を果たすために、福島第二原子力発電所は引き続き燃料の安定冷却を継続してまいります。

ご質問・ご不明な点がございましたら、こちらまでお問合せ下さい。